



# 旭市20周年記念航空写真集



# 旭市20周年記念航空写真集



# 旭市のこと



平成17年7月1日、旭市・海上町・飯岡町・干潟町が合併して誕生した旭市は、千葉県の北東部に位置し、千葉市から50km圏、また都心から80km圏にあります。

南部は美しい弓状の九十九里浜に面し、北部には干潟八万石といわれる房総半島屈指の穀倉地帯と、なだらかな丘陵地帯である北総台地が広がっています。市の中央部を東西にJR総武本線と国道126号が通り、その周辺は市街地として発展しています。産業では、施設園芸、畜産、稲作、露地野菜などが盛んな農業をはじめ、水産業、商業、工業などが、バランス良く成長しています。

人口 61,368人(男30,435人・女30,933人) 世帯数 27,552世帯 ※令和7年7月1日現在



## 豊かな旭を次世代へ

旭市長  
米本 弥一郎

平成17年7月1日に旭市、海上町、飯岡町、干潟町が合併して誕生した「旭市」は、令和7年度に20周年を迎えました。この記念すべき節目に、私たちの故郷や母校の姿を写真集として残せることを大変うれしく思います。

この20年間、豊かな自然や地域に根差した伝統文化、人々の絆を大切にしながら、数々の困難を乗り越え、着実に歩みを進めてまいりました。今日があるのは、まちの礎を築いてきた先人たちの情熱とたゆまぬ努力の賜物であり、深い敬意と感謝の念に堪えません。互いに支え合いながら、希望を紡いできた人々の歴史こそ、旭市の誇りであると強く感じています。

私たちを取り巻く環境は大きく変化し、人口減少や少子高齢化、気候変動による生活への影響などの課題に直面しています。そのような中で、まちが輝きを放ち続けていくためには、市民一人一人の郷土愛を育み、それぞれが持つ知恵と力を結集していかなければなりません。

子どもたちや若者が夢を描き、生涯にわたり安心して住み続けられるよう、これからも「チーム旭でまちづくり」という合言葉の下、誰もが健康で心豊かに暮らせる“ウェルビーイング”の向上を目指して、市民の皆さまと力を合わせ取り組んでまいります。

この20年という節目を新たなスタートとして、次の10年、20年先の次世代へ豊かな旭をつないでいくために、今後とも、市民の皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



### 市章

旭市の将来都市像「ひとが輝き 海とみどりがつくる健康都市“旭”」をイメージし、旭(asahi)の頭文字「a」をモチーフに、青色は海を、緑色は豊かな自然を、そして全体のシルエットは、それらの自然と大地の恵みの中で健康で元気はつらつと躍動する旭市民と、未来へと飛躍する活力ある旭市の姿を表しています。

【平成17年10月29日制定】



### 市の花 ツバキ

大穀倉地帯である干潟八万石は、かつて「榎の海」と呼ばれ、「ツバキ」の名はなじみ深いものがあります。そのツバキにちなみ、制定されました。

【平成17年10月29日制定】



### 市の木 クロマツ

白砂青松とうたわれる九十九里浜を代表する木。広く市内に生育し、潮風から守ってくれるなど、力強く頼りがいのある木です。

【平成17年10月29日制定】



### 市のイメージアップキャラクター あさぴー

旭市の主要な産業である農業、漁業、畜産業をイメージしたキャラクターです。トマトの帽子と野菜をイメージした緑色の羽、しっぽはイワシの尾びれ、元気なひよこの男の子。自然豊かな旭市をいつも走り回っています。

# 旭市の20年のあゆみ



平成17年 新旭市誕生



平成23年 天皇后陛下ご訪問  
(千葉県提供)



平成27年 道の駅「季楽里あさひ」



令和3年 旭市役所新庁舎

- 17年 7月 旧旭市・海上町・飯岡町・千潟町が合併、初代市長に伊藤忠良氏が就任
- 10月 市章や市の木「クロマツ」・花「ツバキ」が決定  
長野県茅野市と姉妹都市、沖縄県中城村と友好交流市村を締結
- 12月 合併後初の市議会議員選挙で在任特例議員70人(欠員1)が26人に
- 18年 8月 総合体育館の利用者が100万人を突破
- 19年 5月 幽学の里で米作り交流事業がスタート
- 20年 6月 漫画家ちばてつやさんが市のPRに協力。原画展をはじめ記念イベントを開催
- 7月 全18ホールの公認コースを備えたあさひパークゴルフ場がオープン  
飯島重雄さんが新市初の名誉市民に選ばれ、顕彰式を開催
- 21年 7月 旭市長選挙で明智忠直氏が当選し、明智市政がスタート
- 22年 9月 ゆめ半島千葉国体卓球競技会が旭市で開催(～10月)
- 23年 3月 東日本大震災発生。市内でも津波、液状化により甚大な被害が
- 4月 天皇后陛下が旭市を訪れ、被災した市民を慰問
- 5月 旭中央病院新本館での診療がスタートし、最先端の高度医療サービスを提供
- 8月 復興を祈願し「のぼる旭 祈りを込めて」をテーマに、第57回旭市七夕市民まつりを開催
- 24年 1月 「心をひとつに 共に進もう 復興あさひ」をスローガンに、旭市復興計画を策定
- 2月 友好交流市村として交流してきた沖縄県中城村と姉妹都市提携
- 3月 あの日から1年。東日本大震災一周年 千葉県・旭市合同追悼式を開催
- 12月 旭市イメージアップキャラクターが「あさひー」に決定
- 25年 5月 三川・矢指津波避難タワーが完成し、地域住民に公開
- 6月 旭市の魅力などを全国に広くPRする旭市観光大使に、歌手の椎名佐千子さんが就任
- 26年 7月 旭市防災資料館がオープン。東日本大震災の記憶を後世へ
- 27年 7月 旭市合併10周年記念式典を挙げる
- 10月 道の駅「季楽里あさひ」がオープン
- 28年 4月 総合病院国保旭中央病院が地方独立行政法人に移行
- 29年 1月 落語家の桂竹千代さんが旭市観光大使に就任
- 8月 いいおかYOU・遊フェスティバルがモデルとなったアニメ版映画「打ち上げ花火、下から見るか?横から見るか?」が全国で公開
- 30年 6月 飯岡灯台が千葉県内初となる「恋する灯台」に認定
- 7月 すずきらなさんらによる海岸堤防壁画アート「竜王絵巻」が完成
- 31年 4月 市内の観光地がラッピングされたバスが初披露。銚子～東京間を走り、旭市をアピール
- 令和元年12月 大原幽学記念館が登録博物館に
- 2年 4月 デマンド交通「きらりんタクシー」がスタート
- 3年 4月 旭市役所新庁舎(現庁舎)がオープン
- 7月 旭市長選挙で米本弥一郎氏が当選し、米本市政がスタート
- 4年 4月 生涯活躍のまち・みらいあさひの拠点「多世代交流施設おひさまテラス」がオープン  
サッカー場「しおさいスタジアム」がオープン
- 5年 3月 地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院が開院70周年
- 6年 3月 県道銚子海上線・清滝バイパスが開通
- 7年 3月 消防本部東部分署、ふたば保育所が完成
- 7月 旭市20周年
- 8月 夏巡業 大相撲旭場所が総合体育館で開催
- 11月 旭市20周年記念式典を挙げる

# 旭市の小中学校



小学校			中学校
① 中央小学校	⑥ 共和小学校	⑪ 三川小学校	① 第一中学校
② 琴田小学校	⑦ 豊畑小学校	⑫ 飯岡小学校	② 第二中学校
③ 千潟小学校	⑧ 鶴巻小学校	⑬ 中和小学校	③ 海上中学校
④ 富浦小学校	⑨ 滝郷小学校	⑭ 萬歳小学校	④ 飯岡中学校
⑤ 矢指小学校	⑩ 嚶鳴小学校	⑮ 古城小学校	⑤ 千潟中学校





Chuou  
**中央小学校**

校歌

作詞:神原 克重  
作曲:鍋木 貢

- 一. 花はむらさき したたるみどり  
涼風かるく 吹きたつ窓に  
せんだん若葉 さやさやゆれて  
ゆられあふれる 明るい光  
旭中央 われらの学校
- 二. 沖は黒潮 なぎさは長い  
砂浜白く くだける波の  
しぶきをしのぎ 嵐にたえて  
茂る浜すげ 根強いいのち  
旭中央 みなぎる力
- 三. 遠い岬に 太陽のぼる  
青々すんで はてない空と  
海にむかって 広がる大地  
広い心だ 希望だ夢だ  
旭中央 輝く学校



Higata  
**干潟小学校**

校歌

作詞:神原 克重  
作曲:金田 春雄

- 一. 東の海の よく晴れて  
朝のひかりの いちはやく  
わかまつ林 照らすとき  
あふれる希望 わくちから  
たのしい われら 干潟校
- 二. ほのぼのけむる 野はみどり  
みのりゆたかな かんたく地  
祖先のころ うけついで  
たゆまぬ努力 ひとすじに  
かがやく その名 干潟校
- 三. はるかにのびる 香取台  
空は青空 かぎりなし  
大気も清く すむところ  
いさむ健康 はつらつと  
築こう明日を 干潟校

Kotoda  
**琴田小学校**

校歌

作詞:飯田 秀真  
作曲:高梨 桂二

- 一. 黒潮かおる 松風が  
そよそよほおを なでて行く  
明るい空に 白い雲  
夢も大きく ふくらんで  
いつも楽しい 琴田校
- 二. 椿の海も なつかしい  
八万石の 田はゆたか  
祖先の心 うけついで  
絶えず新たに 進むのだ  
いつも明るい 琴田校
- 三. 台地にのぼる 朝の日が  
校舎を赤く 照らしてる  
今日もみんなて 手を組んで  
こころ体を 鍛えよう  
いつも元気な 琴田校



Tomimura  
**富浦小学校**

校歌

作詞:大橋 恂  
作曲:山崎 英雄

- 一. 輝く旭 九十九里  
よせる怒涛と 夕風に  
日ごときたえた この体  
海に向かって いざ立たん  
あゝ 我等 富浦小学生
- 二. 窓からひびく 歌声は  
はるか野づらに 飛んでゆく  
みんな明るく 手をにぎり  
雲に向かって いざ立たん  
あゝ 我等 富浦小学生
- 三. 緑の風に 元気よく  
芽ぐむ銀杏の 木のように  
強く大地に 根をのばし  
希望に向かって いざ立たん  
あゝ 我等 富浦小学生





Yasashi  
矢指小学校

校歌 作詞:岩井 良雄  
作曲:真篠 俊雄

- 一. わだの原 わだの原  
千里の沖ゆ 黒潮の  
波の寄する 入り船の  
矢指の浦に すなどりの  
声はにぎわう 我らが郷土
- 二. つらなれる つらなれる  
田の面畑の面 夏くれば  
緑を深み 秋去れば  
実り榮えて 村人の  
心はなごむ 我らが郷土
- 三. あめつちの あめつちの  
深き恵みをおのがじし  
胸に思いて いそしみの  
心たゆまず 真心に  
結びぞ合わん 我らが学校



Toyohata  
豊畑小学校

校歌 作詞:加瀬 完  
作曲:大和 淳二

- 一. 学校の榎の木話してた  
ひいじいさんの昔から  
豊畑和進の学校と  
周りにひびいたわが母校  
歴史を継ぐは君たちと  
となりの松に話してた
- 二. ひばりも空でうたってた  
父さん母さんその頃も  
豊畑小の子どもらは  
しっかりお話しきく子だと  
なまけず仕事をする子だと  
流れる雲にうたってた
- 三. 遠くの海も呼んでいる  
君らは世界に伸びるのだ  
豊畑小の子どもらは  
必ずやりぬく子どもだと  
力を合わせる子どもだと  
千瀧の山に伝えてた

Kyouwa  
共和小学校

校歌 作詞:大橋 恂  
作曲:森 義八郎

- 一. 緑はてなく あさひに映えて  
豊かな里よ 学び舎の  
そびえる校庭の木のように  
明るく素直な よい子ども  
僕もわたしも 共和 共和小学生
- 二. 力あわせて 椿の海を  
黄金の穂波 野に変えた  
祖先の教え 受けついで  
元気に働く よい子ども  
僕もわたしも 共和 共和小学生
- 三. 香る八千草 窓辺の園生  
はるかに遠く 海をきき  
希望を胸に 今日もまた  
正しく強く よい子ども  
僕もわたしも 共和 共和小学生



Tsurumaki  
鶴巻小学校

校歌 作詞:飯田 秀真  
作曲:高梨 桂二

- 一. 鳴神山の風清く  
千瀧の広田霧はれて  
遠い文化の香も高い  
台地に朝の光さす  
鶴巻 鶴巻小学校
- 二. 遙かな空にそびえ立つ  
紫におう富士筑波  
向う心もはればれと  
大きな希望わき起る  
鶴巻 鶴巻小学校
- 三. 明るい海よ九十九里  
とどろく波の音きけば  
若い我らの血もおどる  
日本の明日を築くのだ  
鶴巻 鶴巻小学校

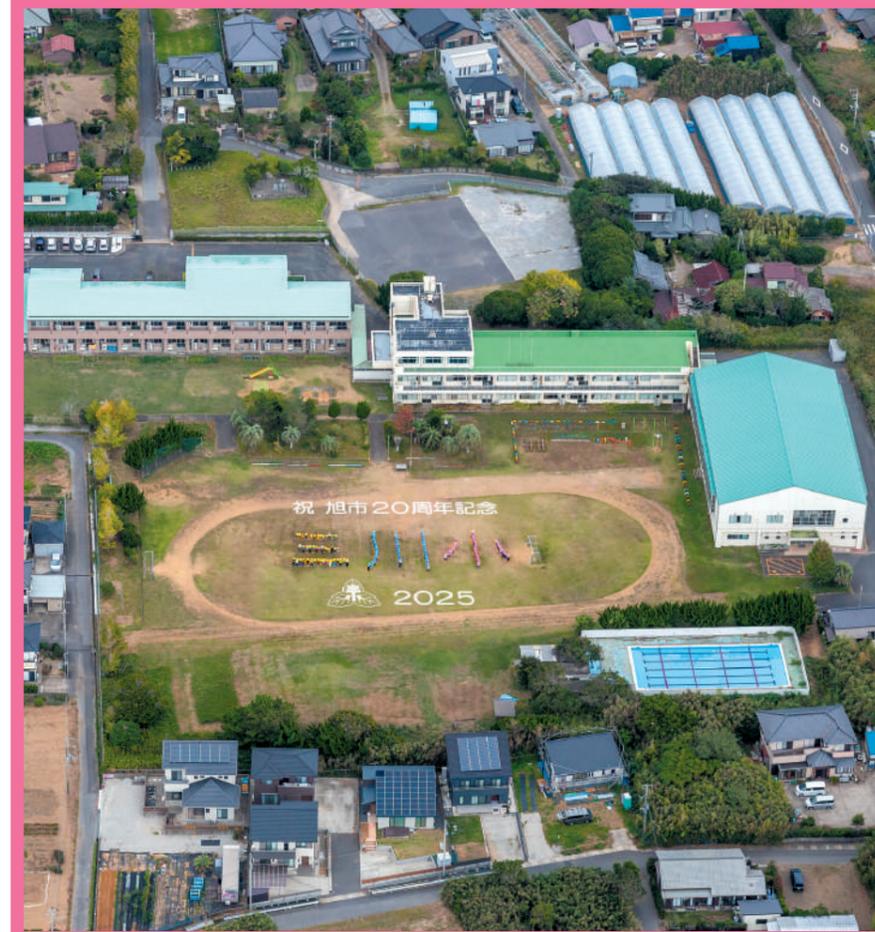




Takisato  
滝郷小学校

校歌 作詞:飯田 秀真  
作曲:高梨 桂二

- 一. 田畑ひらけて 森あおく  
めぐみ豊かな 滝の郷  
白いぶきは 日にはえて  
流れの末も 清らかに  
滝郷 滝郷小学校
- 二. 千潟広田は 風さやか  
寄せる穂波の 金の色  
大きな声で 呼んでみよう  
あしたの夢と 喜びを  
滝郷 滝郷小学校
- 三. 僕ら小さな 若い芽も  
みんな仲よく たくましく  
すくすく伸びて 香も高い  
文化の花を 咲かすのだ  
滝郷 滝郷小学校



Sangawa  
三川小学校

校歌 作詞:高埜 喜一  
作曲:高島 正行

- 一. 松の緑りに 囲まれし  
赤砂堆に 聳えたつ  
清く輝く 学び舎に  
未来の夢と わく希望  
育つ三川小学校
- 二. 潮騒い 近く黒潮の  
寄せては 返す波の如  
鍛えて 強くは たらつと  
たゆまぬ 心わく力  
学ぶ三川小学校
- 三. 明日を 築かん 朝空に  
あかるい 光ゆたかなる  
開け 世代に さきがけて  
磨く 知識と わく理想  
伸びる三川小学校

Oumei  
嚶鳴小学校

校歌 作詞:江畑 耕作  
作曲:長谷川 良夫

- 一. 九十九里浜 南にうけて  
そよ風かおり みどりががやく  
空ひろく めぐる台山  
かすみ立つ はるかな野辺よ  
ああ嚶鳴 われらが故郷
- 二. 父祖のひらいた 樺の海に  
穂波は光り 雲はながれる  
見はるかす 黒いひとみに  
あふれくる いのちの力  
ああ嚶鳴 われらは強し
- 三. 北にはつばね 西には富士  
青空たかく 希望はばたく  
新しい 世界の道を  
ひらきゆく われらの誇り  
ああ嚶鳴 嚶鳴小学校



Iioka  
飯岡小学校

校歌 作詞:大橋 市太郎  
作曲:高島 正行

- 一. 太平洋の荒波の  
黒潮おどる 磯の香に  
溢れる若さ たぎらせて  
正しく元気に伸びてゆく  
輝くわれら 飯岡小
- 二. 歴史は古き 学び舎に  
栄えある 伝統 受け継いで  
強く明るく たくましく  
海の子達は 育ちゆく  
輝くわれら 飯岡小
- 三. 竜王岬きりたちて  
九十九里浜 水清し  
きたえ励みて たゆみなく  
無限の力を 学びゆく  
輝くわれら 飯岡小





Chuwa  
中和小学校

校歌 作詞:勝 承夫  
作曲:平井 康三郎

- 一. 光は清く暖かく  
丘に田の面に満ちわたる  
希望あふれて昔も今も  
千潟八萬石夢みのる  
わが中和に集まるわれら
- 二. 偉人のおしえ身にうけて  
里のほまれを語りつぐ  
自主の気風のこどもが育つ  
千潟楽しいまちがぎりなく  
なかよく強くわれらは進む
- 三. 香取の神の庭までも  
とどけ歌声晴れやかに  
明日をうけつぐ誓も固く  
千潟たゆまぬ意気はつらつと  
わが中和にのびゆくわれら



Kojou  
古城小学校

校歌 作詞:関沢 潤一郎  
作曲:山本 芳樹

- 一. 希望の朝日 鎬木の  
城址を照らし のぼるよう  
理想をたかく のぞみつつ  
楽しく学ぶ 学校は  
輝く古城小 われらの母校
- 二. 学びの道は 遠くとも  
教えを守り 休みなく  
わが師のもとに はげみつつ  
文化の花を 咲かす日を  
めざして進むは われらのつとめ
- 三. 八万石の 大耕地  
開ける丘の 校庭に  
働く心 育てゆき  
丈夫な体 きたえゆく  
しあわせこそは われらのほこり
- 四. 心は広く おおらかに  
ゆるがぬ意志を 常に持ち  
社会のために 役に立つ  
立派な人になる覚悟  
これこそ古城小 われらのちかい

Manzai  
萬歳小学校

校歌 作詞:飯田 秀真  
作曲:高梨 桂二

- 一. 椿の海は いまいざこ  
八万石の 広田こそ  
祖先のいのち こもる土  
あふれる光 かおる風  
わが母校 萬歳小学校
- 二. かがやく真珠 苗のつゆ  
みのりの秋の 金の波  
大空高く 立つにじは  
希望と夢の かけはしだ  
わが母校 萬歳小学校
- 三. われらはよい子 よいまちを  
よい日本をつくるのだ  
きたえよ磨け 身と心  
力をあわせ 進もうよ  
わが母校 萬歳小学校



Daiichi  
第一中学校

校歌 作詞:神原 克重  
作曲:鎬木 貢

- 一. 空広く 地は平らに  
みどりの野 遠く展けて  
日の光 ゆたかにあふる  
清明の気 あつまるところ  
学園あり 旭第一中学
- 二. とどろくは 重き海鳴  
九十九里 長き浦回に  
寄せ返し 荒ぶる波の  
どうとうと 力はこもる  
剛健これ わが青春讃歌
- 三. 松高く 風さやけし  
うつくしき 国を築くと  
わかわかし みなぎる希望  
すこやかに かがやくいのち  
栄あれ 旭第一中学





Daini  
第二中学校

校歌 作詞:石森 延男  
作曲:井上 武士

- 一. 太平洋の潮風を  
五体に浴びてたくましく  
尊き生命まもりつつ  
真理の世界学ばばや  
若さあふるる学び舎は  
名もうるわしき旭二中
- 二. 東につづく丘の色  
四方をかざる森のかけ  
豊かに個性育てつつ  
明るき心抱かばや  
若さあふるる学び舎は  
名もうるわしき旭二中
- 三. はげしき嵐おそうとも  
ひるむことなしたじろがず  
人間愛の灯をともし  
理想の道をましくらに  
若さあふるる学び舎は  
名もうるわしき旭二中



Iioka  
飯岡中学校

校歌 作詞:神原 克重  
作曲:森 義八郎

- 一. 海展け 大空晴れたり  
青々と 岡はのびゆき  
きりたてる 竜王みさき  
千年の 波濤を支え  
ゆるぎなき 力に立てり
- 二. 海展け 砂丘しろじろ  
玉の浦 つづくなぎさ  
あたたく 潮はみちて  
ひょうびょうと 海原遠く  
はるかなり 若き希望
- 三. 海展け 太陽かがやく  
黒潮の 潮の紺青  
照りわたる 沖べにほひ  
寄せかへし 寄せくる波の  
新たなり 我らのいのち

Unakami  
海上中学校

校歌 作詞:大石 逸策  
作曲:市川 都志春

- 一. 東の丘に 雲流れ  
西に椿の 海拓け  
干潟の穂波 なびくとき  
自由の鐘は 鳴り渡る  
今こそ聞けや 海上中
- 二. 松風さやぐ 山里の  
砂生に強く 生れ出でし  
男子女子 健やかに  
つぶらに光る その瞳  
今澁らつと 海上中
- 三. とどろとどろと 潮騒は  
九十九里より 響きくる  
この豊けさに さおさして  
思想の海に 漕ぎ出でん  
今ぞ伸びゆく 海上中

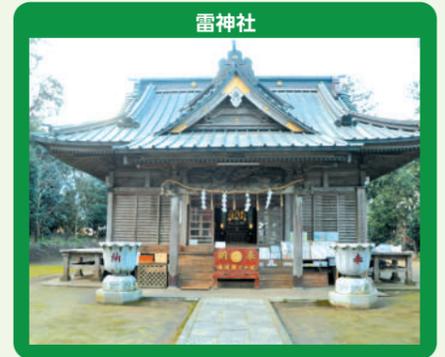


Hikata  
干潟中学校

校歌 作詞:飯田 秀真  
作曲:山本 芳樹

- 一. 総の台地の 極まりて  
干潟の広田 目もはるか  
椿の海を 拓きたる  
世々のいさおの しのばるる  
干潟中学 わが母校
- 二. 古き文化の 香もしるく  
産業日々に 伸びゆきて  
偉人の説きし ひとのみち  
いまも心の 支えなる  
干潟中学 わが母校
- 三. 空は明るく 風清く  
希望は雲と わきあがる  
若人われら 手をくみて  
強く正しく いざ行かん  
干潟中学 わが母校





海上地域(旧海上町)は、広い田園と畑地が広がる緑豊かなエリアです。稲作や路地野菜、畜産のほか、マッシュルーム栽培など特色ある農業も行われています。一方で、JR飯岡駅周辺は市街地からも近く、利便性の高い生活環境を備えています。丘陵地には公園やキャンプ場が整備され、春は河津桜や菜の花、夏はヒマワリ、秋はコスモスや紅葉など、四季折々の風景が楽しめるスポットが点在しています。

## 海上地域



- ①旭市海上庁舎・海上公民館
- ②海上キャンプ場・滝のさと自然公園
- ③龍福寺
- ④雷神社
- ⑤還来寺
- ⑥JR飯岡駅

- ①旭市役所
- ②千葉県立東部図書館・旭市図書館
- ③千葉県立東総文化会館
- ④JR旭駅
- ⑤あさひ市民センター
- ⑥袋公園
- ⑦地方独立行政法人総合病院国保旭中央病院

## 旭地域



旭地域(旧旭市)は、九十九里浜に面した自然と都市機能が調和したエリアです。JR総武本線や国道126号が横断し、市の中心地として、市役所などの行政機関、全国有数の規模を誇る基幹病院である旭中央病院などの医療・福祉施設、スポーツ・文化施設、道の駅「季楽里あさひ」などの商業施設が集まっています。稲作や野菜、花の栽培などの農業が盛んであるほか、水産加工では丸干しイワシの産地としても知られています。





- ①飯岡刑部岬展望館～光と風～ ②屏風ヶ浦 ③飯岡漁港 ④玉崎神社 ⑤しおさいスタジアム
- ⑥旭市防災資料館 ⑦いいおかユートピアセンター

## 飯岡地域



飯岡地域(旧飯岡町)は、九十九里浜の北端に位置し、美しい海岸線が広がる風光明媚なエリアです。漁業と施設園芸が盛んで、シラスやハマグリなどの海産物や「飯岡貴味メロン」が全国的なブランドとして知られています。飯岡海岸ではサーフィンなどのマリンスポーツが盛んで、飯岡漁港には多くの釣り客が訪れます。また「東洋のドーバー」と呼ばれる屏風ヶ浦や飯岡灯台のある刑部岬からは、雄大な太平洋が一望できます。

しおさいスタジアム



飯岡漁港



飯岡刑部岬展望館



大原幽学記念館



東総運動場



長熊釣堀センター



## 干潟地域



干潟地域(旧干潟町)は、干潟八万石に代表される広大な田園地帯があり、稲作や養豚など農畜産業が盛んなエリアです。江戸時代に「椿の海」と呼ばれる湖を干拓して生まれた土地で「干潟」という地名の由来にもなっています。幕末の農業指導者である大原幽学の功績を伝える大原幽学遺跡史跡公園や、さまざまなスポーツ大会が行われる千葉県総合スポーツセンター東総運動場があり、文化・スポーツの交流拠点となっています。

- ①ひかた市民センター ②大原幽学記念館・大原幽学遺跡史跡公園
- ③千葉県総合スポーツセンター東総運動場 ④長熊釣堀センター ⑤干潟八万石



## あ と が き

旭市・海上町・飯岡町・千潟町の1市3町が合併してから、20年目を迎えられましたこと、誠におめでとうございます。その記念として、市内小・中学校の人文字と市内各地域の航空写真を撮影でき、大変うれしく思います。

私たち国際総合企画株式会社は、1973年の創業から50年以上、全国の小学校の人文字を中心に、航空写真撮影を続けていて、38年前には1市3町中心部の航空写真も撮影しました。

過去の街の様子を見たことはありますか？今は、インターネットでも空からの風景が見れたり、手軽にドローン撮影ができたり、航空写真自体は珍しいわけではありません。しかし過去の写真を見るのは簡単ではありません。この航空写真集を手にしてくれる小学生や中学生の皆さん、38年前の写真を下に掲載します。「昔の旭市」と前のページに載っている「今の旭市」を比べてみてください。そして大人になった時、再びこの航空写真集を開いて、「その時の旭市」と、「子どものころの旭市」をぜひ比べてください。旭市の変わらない姿、変わっていく姿が分かるはずですよ。そして、ふるさとを広く撮影しているこの写真集を通して、旭市のことをもっと好きになり、もっと知りたいと思っただけを願っています。

最後に、お忙しい中、企画・編集に熱心に取り組んでくださった旭市役所の皆さま、写真撮影などにご協力いただきました旭市教育委員会、各校の教職員の方々に心より御礼申し上げます。

国際総合企画株式会社 代表取締役 山口 明義



### 旭市20周年記念航空写真集

発行日 2026年(令和8年)3月1日  
編集 旭市総務課  
発行所 国際総合企画株式会社  
電話 03(3251)3221